

## 解説 2

# プレス安全全国大会の事例紹介から 安全対策の歴史を振り返る

(一社)日本金属プレス工業協会 中川朝彦\*

日本金属プレス工業協会は金属プレス加工メーカーの業界団体としてプレス作業の安全対策に長年取り組んできた。その取組みの一例として毎年、会員企業をはじめとするプレス加工メーカーの業務の安全に関する取組みの紹介と講演を組み合わせたプレス安全全国大会を開催している。各企業の安全への取組みが一段落した後は、シンポジウム形式に切り替えるなど、大会名、形式の変更を行い、現在まで 29 回開催した。

改めて発表された事例を見直してみると、安全技術に関しては古さを感じるものもあるが、先人の取組み姿勢を含め、現在でも通用し、参考になるものも多い。「安全優先」の意識が定着したころから災害発生件数は減少しつつあったが、それでも一定の数は存在する。

現在は「災害ゼロ」から「危険ゼロ」にとりく

むためのリスクアセスメントが注目されるようになったが、本稿ではその推移を事例を含め説明する。全部を紹介することはできないが、プレス加工メーカーの安全対策の一助になれば幸いである。

## プレス安全全国大会の変遷

表 1 にプレス安全全国大会の歴史を示す。1985 年に開催された第 1 回大会は、企画立案の段階において熱い議論が交わされたものと思われる。ある企業の「危険を予知する」という発表の中で、「災害発生の不安から逃れるには先に危険を予知し適切な対策を立て、未然に防止することが唯一の脱却方法でなかろうか」との内容が話されたそう。2006 年にリスクアセスメントが努力義務化される 20 年も前であることに驚かされる。

また、ある大会では「安全は常時であり、何よりも優先される」という標語についての逸話が紹介された。あるプレス加工メーカーの社長が同業の優良メーカーを見学したとき「安全第一、品質

\* (なかがわ あさひこ) : 業務課長  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 212 号室  
TEL : 03-3433-3730 FAX : 03-3433-7505

表 1 大会開催年表

	開催回	開催場所	備考
1985 年	第 1 回	愛知県産業振興会館 (愛知県)	「プレス安全全国大会」として始まる
2004 年	第 20 回	機械振興会館 (東京都)	「プレス安全・環境全国大会」と名称変更
2009 年	第 1 回 <sup>*1</sup>	機械振興会館 (東京都)	「プレス安全・環境シンポジウム」に名称変更
2011 年	第 3 回 <sup>*2</sup>	郡山ホテルビューアネックス (福島県)	東日本大震災発生
2013 年	(第 5 回) <sup>*3</sup>	TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター (愛知県)	BCMS 関連プロジェクトの一環として開催

\*1 本協会の ISO 14001 への取組に合わせ、環境問題も取り入れた

\*2 東日本大震災発生により、この年から常時の安全に加え、防災にも取り組むようになった

\*3 BCMS 関連プロジェクトの一環として開催したため (5 回) と ( ) を付加した